

令和5年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人
ワーカーズ・コレクティブ
ケアびーくる

1 事業の成果

1) 単独では移動が困難な方々が外出することで生活の質を高められるよう、市民が持つリソースを発揮して互助の精神のもと参加型福祉の実現に務めました。

地域に不可欠なサービスの存続を図るため、参加者の拡大に努めました。

1) 車を使っでの介助付き移動サービスを福祉有償運送の制度の下で続けました。

新規の利用者が毎月12名余のペースで増える一方、今一番の課題である担い手不足はすぐには解決せず、動けるメンバーで何とかやりくりをしながらの活動が続いています。

担い手の拡充を図るべきところ、社会的状況として定年年齢の延長や生活のために働かなくてはならない人が多く、歩合給であるケアびーくるへの勧誘が思うようになりません。この状況に鑑みて、メンバー拡充のために運転者講習会の市主催を市に働きかける、また、基盤整備強化のための取り組みなどを進めました。

経営の安定化、インボイスへの対応、諸経費の高騰への対処のため10月に利用料の改正を行いました。

- 新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、その後も通院の利用は増加しているものの、リフレッシュや買物付添などの利用はコロナ禍前と比べると減少傾向が続いています。タクシーの予約ができないなどの社会情勢もあり、利用会員の新規入会は多くありました。対応には細かな配慮が求められることも多く、コーディネーター等にも多くの労力を費やしました。介助付きの外出支援はますます必要とされているといえます。
- 限られた条件のなかで、ニーズにはできるだけ応え、年末年始も休むことなく活動しました。通院・入退院・通所・通学・ショートステイのほか、利用は以前より控えられているものの買物やリフレッシュ・墓参・花見などの様々な依頼にも応えました。他に、定期的な透析や通所の利用が続いています。
- 独居や高齢者のみの世帯など、また、抗がん治療やひきこもりだった方の久々の外出など手厚い支援を必要とする利用者が増えています。ケアマネジャーや地域包括支援センター、市の関係部署などとの連絡を密にとり、細やかな配慮をしながらサービスを進めました。
- 正会員は加入が5名あり、一方、年度中に3名が退会し、3月末現在は42名です。日々の活動の参加者は29名（内、運転会員22名）です。
- 市内で開催された「運転者講習会」を受講した3名の入会がありました。加えてメンバーの誘いによって1名、また、返り咲きのメンバーが1名増えました。退会は、主

カメンバーが 75 歳で年度初めに 1 名、また 73 歳で 1 名ありました。

- 他の仕事などとの掛け持ちや家族の介護などのため、常時活動に参加できるメンバーが少ない状況が続いています。また、メンバーの年齢もあがってきて、腰痛などの支障も出てきており、車いすのままの複数体制での階段の上り下りも担当できるメンバーは益々限られてきています。
- 会所有の福祉車はリフト式のキャラバンが 2 台、ハイエースが 1 台、スロープ式の N-BOX が 1 台の計 4 台です。持込セダンの登録は 14 台です。
- 軽微な物損事故が 2 件ありました。

2) 利用しやすい移動サービスを実現するため、大和市・神奈川県・国との協働や他団体・他機関との連携をすすめました。

大和市とは引き続き協働事業を実施し、利用者など市民の方々に貢献しました。

- 協働事業を開始してから 20 年目（7 期の 2 年目）となりました。協働事業協定書にもとづいて、大和市からは引き続き、福祉車駐車場（4 台分）およびストレッチャー等の保管場所、負担金の提供を受けました。
- 会存続のための喫緊の課題である、運転者の確保のための市主催運転者講習会と広報について、市に働きかけを続けてきました。来年度、実現することになりました。
- 毎年 1 回の「広報やまと」への掲載は、運転者講習会のお知らせのほか、初めて、運転者募集の記事が追加されました。また、「出張！ボランティア総合案内所」などで情報提供が行われました。
- 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業を引き続き行いました。必要に応じ、担当課との調整を行っています。利用者向けのしおりの内容について、実態に合わせたものにするよう提案し、来年度から反映されることになりました。
- 市が設置している「大和市地域公共交通協議会」にケアびーくるから委員として参加し、福祉の視点から交通についての意見を述べました。来年度 10 月開催予定の地域に向けた催事のプロジェクトチームにも参加しています。
- 地域福祉の充実に関しては、以下の組織やネットワークに引き続き参加し、連携しています。
 - ・コミュニティ・オプティマム福祉地域協議会 大和
 - ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
 - ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ協会
 - ・NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
 - ・NPO 法人全国移動サービスネットワーク
 - ・大和市民活動センター
 - ・大和市社会福祉協議会

- 3) ニーズに沿った質の高いサービスが提供できるよう介助研修や共有に努めました。
車両運行における利用会員の「安全と安心」を確保するため、安全運転と適切な運行管理に力を注ぎました。また、引き続き、感染対策に取り組みました。

ニーズにきめ細やかに対応できるよう、運行管理者、運転会員で情報共有を図っています。

常時心掛けている、利用者の「安全と安心」の確保はもとより、新型コロナ感染のリスクから身を守るための取り組みを実施しました。

新型コロナ感染症対策と対応について、昨年度に引き続き、利用者・メンバー双方の健康観察を行いました。

12月から義務化された、アルコール探知機についても運転メンバー全員に配布し活用しています。

- 車を使つての活動はいつも神経を使います。新型コロナ感染症は5類に移行しましたが、三密を避ける、車内換気、アルコール消毒、マスク着用等の対応は引き続き行っています。メンバーの一人ひとりが緊張感を持ち、かつ利用者の方々への共感を持って活動を進めました。
- メンバーが講習会や研修に参加、あるいはWeb会議に参加し、日頃のワークに生かしました。
- (安全運転講習会、学習会等)
- 運転に関して定年を定めたケアびーくるの内規に則り、73歳の節目で1名が外部の運転技能研修を受講し、運転業務を継続しています。
- 必要に応じ、ストレッチャーやフルリクライニング車いす、スマートレストなどの扱い、福祉車両の操作や車いす固定操作の再確認等の研修を個別対応で行いました。新加入の運転会員には同乗研修を行いました。
- 福祉車走行中の車いす利用者の安全確保のため、後付けのヘッドレスト「スマートレスト」については、福祉車4台に備えて活用しています。
- また、車いす使用時の安全のための固定ポーチと固定ベストについても、必要に応じで活用しています。
- 冬季の安全確保のため、N-BOXにスタッドレスタイヤを装着しました。てのひら号はオールシーズンタイヤを装着しています。
- 毎月定例会を開催し、安全で安心のサービス実現に向けて情報交換を行い、きめ細やかなサービス提供に努めました。受講した安全運転研修の内容やヒヤリハットの共有も図りました。
- 運行管理は6名のメンバーで担当しました。日ごろから連絡を密にとり、正確かつきめ細やかな対応ができるよう努めました。
- 緊急時などにはLINEも活用しています。

- 4) 今後の会の活動の存続を見据えた方策に引き続き取り組みました。

日々の活動に追われながらも、今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

- 担い手拡大については、メンバーが常時、新しい仲間づくりを心がけました。
- 近々定年を迎える運転メンバーも多いなか、定年の内規について検討を進めましたが、今まで通りとするという結論になりました。
- 昨年度作成したメンバー募集のリーフレットをより分かり易くするため写真の入れ替えなどをし、運転者講習会で配布していただく等、機会を見て配布し活用しています。初めての試みとして市民活動センター発行「あの手この手」の発行時にリーフレットを同封してもらいました。
- メンバー募集のポスター掲示も続けています。
- 簡易なチラシも新たに作成し、会合での声掛けの時などに活用しました。
- シルバー人材センター、社協ボランティアセンター、市民活動センターに持参し、配架していただきました。
- 料金改定に向けた作業を進め、7月末の大和市福祉有償運送運営協議会を経て、10月から新たな料金体系に移行しました。これに先立ち、利用者や関係各所へのお知らせ、伝票類の改定等々必要な作業を混乱なく進めることができました。
- 昨年度決定したかながわ土地建物保全協会のライフフリー助成を受け、基盤強化のために活用しました。来年度も助成が決まっています。
- 日揮福祉財団の助成を受け、経年劣化していたフルクライニング車いすを更新することができました。
- 中型福祉車の寄贈を受けるため ALSOK 福祉車助成に応募しましたが、残念ながら叶いませんでした。
- 会所有の福祉車は、新キャラバンが2年目、N-BOXは5年目、てのひら号は9年目、ハイエースは15年目になります。
- 「大和市原油価格・物価高騰対策中小企業支援対策給付金」に応募し、支給されました。
- イオンの黄色いレシートキャンペーンの贈呈を受け、事務用品などの購入に当てました。来年度も引き続き参加します。
- 年間を通じて経費削減に努めました。
- 中・長期計画は随時見直しました。

5) 理事会と定例会を毎月開催し、参加型で問題解決をはかるとともに、研修と共育に努めました。

毎日の定期メールで情報を共有し、こまめな情報交換と問題解決に努めました。

- 理事会と定例会を毎月開催しました。保健福祉センターのほか、鶴間コミセン、生涯学習センターの会場も借りました。定例会はメンバー相互の情報交換の場とし、日々の問題点を共有するとともに、解決に向け話し合いました。最近出席率が低下しているのが課題です。

- 定例会の議事録をメールで活動メンバー全員に送信し、情報の共有化を図っています。

6) 地域への情報提供をおこないました。

- 今年3月に「ケアびーくる通信 No15」を発行し、利用会員や関係各部署に配布しました。利用会員からの投稿もいただき好評でした。
- ホームページの充実やブログならびにフェイスブックの更新に努めました。(ブログ更新:7回)
- 朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに広告を掲載していただきました(掲載:9回)。これを見ての利用の申し込みもありました。
- かながわ移動ネット主催の運転者講習会に講師の派遣と福祉車の提供を行いました。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 外出介助等のサービス事業

ア ケア事業

- ・内容 通院入退院、通所通学、買い物等の外出介助および付き添いサービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 29人
- ・対象者 移動制約者 375人(のべ利用者4266人)
- ・支出額 11,993,229円

イ 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業

- ・内容 大和市福祉車両所施事業対象者における外出介助及び付添サービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 29人
- ・対象者 移動制約者 63人(のべ利用者609人)
- ・支出額 3,000,756円

② 地域に向けて研修、啓発をはかる事業

- ・内容 ホームページの充実、ブログ更新(年11回)、facebookの更新
新聞折り込みチラシへの広告掲載(年6回)
かながわ移動ネット主催、運転者講習会に講師の派遣・車両の提供
(3回)
- ・日時 随時
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 9人
- ・対象者 移動サービスを受けたことのない方および、そのご家族
ワーカーズ・コレクティブの働き方に興味のある方
- ・支出額 51,200円

- ③ その他、この会の目的を達成するために必要な事業
※ 今年度はその他の事業を実施していません。